



小和田地区まちぢから ニュース

発 行：小和田地区まちぢから協議会
問合せ：小和田地区コミュニティセンター
電 話：0467-52-9016

令和7年度 小和田地区まちぢから協議会 新委員の紹介

令和7年度、小和田地区まちぢから協議会の新委員が4月12日(土)に開催の定期総会で決定しました。会長、副会長、書記および会計の役員は前年度から引き

続き留任しました。

今年度から新たに、上赤羽根自治会会長の細田氏が、オブザーバとして委員会に出席されます。



小和田コミセンでの定期総会

新たに立ち上げた
「こわだまち協ブログ」



役 職	氏 名	所属団体
会 長	栗石 剛	小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会会長
副会長	三浦 一浩	赤松町自治会会長
副会長	下山 博	協議会推薦（プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会）
書 記	大野 久美子	協議会推薦（菱沼小和田自治会）
会 計	川原 葉月	交通安全部会部会長・協議会推薦
監 事	日比 雅美	協議会推薦（新宿自治会）
監 事	小林 範夫	協議会推薦（赤松町自治会）
部会長	風岡 学	広報部会部会長・自治会連合会会長（赤松自治会）
	豊田 幸子	防災部会部会長・協議会推薦（菱沼小和田自治会）
	高木 眞由美	子ども部会部会長・協議会推薦（本宿自治会）
委 員	眞壁 章	本宿自治会会長
	安良岡 靖史	新宿自治会会長・松林学区青少年育成推進協議会代表
	北嶋 洋	菱沼小和田自治会会長
	竹内 文雄	赤松自治会会長
	木下 博晃	プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会会長
	齋藤 里子	小和田小学校区青少年健全育成推進協議会会長
	山田 恒久	小和田地区民生委員児童委員協議会会長
	矢藤 誠治	小和田地区社会福祉協議会会長
	鈴木 徳信	松林地区体育振興会代表・(一社)辻堂西口YU-ZUルーム代表理事
	山下 真人	みんなのこわだ ボランティアセンター長
	小林 玲子	小和田小学校こわだ会代表
	佐藤 律子	赤羽根中学校保護者と教師の会代表
	三瓶 まどか	松林中学校PTA代表
	片山 加奈子	松林小学校PTA代表
	山口 薫	杉の子子ども会代表
	須藤 亮	公募委員（新宿自治会）
	南 吉夫	公募委員
市役所担当	杉本 真太郎	市民自治推進課主事
オブザーバー	高澤 誠	小和田小学校校長
	細田 勲	上赤羽根自治会会長

令和7年度 各自治会の紹介

■本宿自治会 会長：眞壁 章 (まかべあきら)

本宿自治会は昭和32年2月1日に結成しました。本宿町全体と代官町、赤松町、小和田2丁目・3丁目、菱沼3丁目のそれぞれの一部が、本宿自治会の区域です。約1,700世帯で35の班を構成し、約半分の班は集合住宅です。

昭和45年8月1日に自治会の拠り所として、旧本宿自治会館（昭和55年までは本宿公民館）を建設しました。資金は当時の会員がそれぞれの分にに応じて拠出しました。自治会館が老朽化すると先人の意志を継いで資金を積み立て、行政の援助を受けながら建て替えました。新本宿自治会館の落成式を平成27年3月15日に行いました。今年10周年を迎えました。

平成21年5月13日に、自治会の広報紙「本宿自治会情報」第1号を発行しました。自治会の情報を発信するため今後も発行を続けています。回覧板や掲示板をご覧ください。

平成27年4月1日に自治会のホームページを作成しました。色々な情報を掲載しています。QRコードを読み取ってご覧ください。

本宿自治会館



本宿自治会H.P.



旧本宿公民館

■新宿自治会

会長：安良岡靖史 (やすらおかやすし)

新宿（あらじゅく）自治会は、お互いに協力し合い、住みよい町を創るため次のような活動に取り組んでいます。

「ごみのないきれいな街にしたい」、「こどもやお年寄りが健やかに暮らせる地域にしたい」、「誰もが安全・安心に暮らせる地域にしたい」、「災害時は地域で助け合って被害を小さくしたい」、このような地域のさまざまな願いに応えながら、同じ地域に住む人々が顔見知りになり、共通の話題から親睦を深め住みよいまちづくりを目指しています。

住民同士の絆を強め、地域を活性化するためのふれあいのあるまちづくりとして、4月の「草遊祭」では子どもたちが楽しめる縁日の内容と皆さんの食材として弁当と野菜の販売を、8月には熊野神社境内をお借りして「納涼祭」を開催し、盆踊りと休憩時間のアイスクリームを楽しみに暑い夏を乗り切っています。

きれいなまちづくりでは、ごみ集積所の維持管理と遊歩道の除草など地域の美化活動を行っています。

いつ来るかわからない災害に備え、隣近所で助け合う自主防災組織において、日頃から防災訓練の実施、防災資機材の整備等の防災対策を行っています。



■菱沼小和田自治会 会長：北嶋 洋 (きたじまひろし)

菱沼小和田自治会は、菱沼小和田地区で活動する地域自治組織です。2007年に菱沼自治会から独立し、茅ヶ崎市で131番目の自治会として発足しました。現在、約1,200世帯が所属し、16組99班に分かれ、24名の評議員によって運営されています。

「安心・安全」をモットーに、顔の見える明るい街づくりを目指し、防犯パトロールや防災訓練、地域イベントの開催など、住民の交流と地域の活性化に努めています。活動拠点は市営住宅外複合施設にあり、地域の拠点として活用されています。また、小和田地区まちづくり協議会にも参加し、地域全体の課題解決や情報共有を図っています。地域のつながりを大切に、住みよいまちづくりを推進しています。

地域住民の交流と連帯感を大切に、顔の見える関係づくりを推進しています。さらに、地域の歴史と伝統を守る取り組みの一環として、毎年夏に開催される菱沼八王子神社の「浜降り祭」、「例大祭」や「盆踊り」などの行事にも参加し、地域文化の継承にも力を入れています。

菱沼八王子神社例大祭



盆踊り



端午の節句

■赤松町自治会 会長：三浦一浩（みうらかずひろ）

「赤松町自治会」は辻堂駅北側、藤沢市との市境に位置する自治会です。私たちは誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、日々さまざまな活動を行っています。

「防災訓練」、「防犯パトロール」はもとより、地域での顔見知りを増やし親睦を深めながら災害時の拠点設営・炊き出し訓練にもなる「親睦ふれあい

まつり」や「餅つき大会」も定期的開催しており、地域に暮らす方への貢献活動を続けております。

赤松町をもっと住みよい場所にするために、皆さまに自治会活動をご理解いただくとともに、ご参加ご協力を心よりお待ちしております。



親睦ふれあいまつり



餅つき



赤松自治会エリアMap



赤松自治会

「赤松自治会だより」毎月発行、「自治会ブログ」随時更新。



赤松自治会Blog

■赤松自治会 会長：竹内文雄（たけうちふみお）

赤松自治会は昭和48年に設立された自治会で、今年の定期総会で第53回を迎えました。最初は、昭和22年頃に建設された、神奈川県営住宅に引っ越してきた住民達の集まりです。規約の改定履歴を見ると、平成11年4月に、現在の「赤松自治会」と改称しています。

その後、平成30年にシエリア湘南辻堂（約350世帯）、グレイプス湘南辻道（現：ラヴィーレレジデンス湘南辻堂 約70世帯）が当自治会に加入し、戸建て住宅（約150世帯）が主であった自治会が、マンションと集合住宅の方が多くなりました。

現在の赤松自治会の住居エリアは左図の通りです。辻堂駅から最も近い自治会で、近年はテラスモールが出来たため、中央を走る赤松中央通りは買い物客や通勤者の車のバイパスとなっています。

左側の自治会のロゴマークは、シエリアの方にデザインしていただいたもので、赤松の「赤」、烏帽子岩と波、AkamatsuのAをイメージしています。

■プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会

会長：木下博晃（きのしたひろあき）

プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会は、ひとつのマンションの居住者のみで構成している、小さな自治会です。

マンションができて31年、自治会が発足して29年になります。現在は100世帯が居住、100世帯すべてが自治会に加入しています。役員は輪番制で、10年に一度担当することになっています。すでに役員を3回経験した方も多く、自治会活動、地域活動に対するご理解、ご協力をいただいています。

地域活動（まちぢから協議会、各部会、コミセン運営、防災、社会福祉など）については、役員に担当を振り分けて負担にならないようにし、月1回の役員会で、情報交換、情報共有を図っています。任期が1年ということで、活動に慣れた頃には引継ぎとなり、周りの自治会の方々には、そのたびにご指導、ご相談させていただきながら活動を進めています。

昨年、防災リーダー有志の皆さんにより防災リーダー会が立ち上がりました。防災訓練、防災資機材の整備など、助言をいただきながら防災活動に注力しています。



エントランス



防災倉庫



掲示板

令和7年度 各団体の紹介

■小和田地区社会福祉協議会

会長：矢藤誠治（やとうせいじ）

小和田地区社会福祉協議会は、小和田地区まちぢから協議会区域の自治会と社会福祉事業等の関係者が協力し、地域福祉の増進を図る事を目的としています。

主な事業としては、小和田地区在住70歳以上の方を対象とした「ふれあいサロン小和田」（右写真：YU-ZUルームにて開催）、未就園児と保護者を対象とした「子育てサロンぽっかぽか」を毎月開催。「ふれあい福祉バザー」、「認知症声かけ訓練」、「救命救急講習会」等の開催は地域の方々との交流の場所として、多くの皆さんに楽しく学んで頂いています。

特別事業として「みんなのこわだボランティアセンター」は日常生活支援（草取り・買い物代行等）の他にもサロン活動、みんなで学んで楽しむ「健康麻将」、「メダカの学校」等、地域で支える仕組みづくり、『地域福祉活動の拠点』として様々な役割を担っています。

これからも、地域の方々に「地区社協」の事業をご理解して頂き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



ふれあいサロン小和田



フリースペース(昨年)

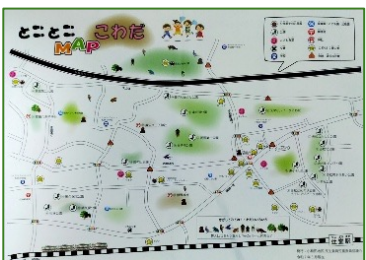


みんぴょん

民児協のキャラクター



Sパティオ店頭にて



とことこ小和田MAP

■小和田地区民生委員児童委員協議会

会長：山田恒久（やまだつねひさ）

小和田地区民生委員児童委員協議会は、各自治会から推薦された民生委員・児童委員19名とまち協推薦の主任児童委員2名の21名で活動しています。『気づく、つなぐ、見守る』をモットーに、こどもたちと保護者、障がい者、高齢者の方々の身近な相談相手として、地域の中で見守り活動をしています。

毎月の定例会では、地域内外の情報交換や事例報告、勉強会等を行っています。

近年は、こどもが安心、安全に過ごせる場所が少なくなっているのでは…ということで、この2年間、地域の皆さんと一緒に『こどもの居場所を考える』というフリースペース活動も行っていました。

こどもから大人まで、地域の皆さんが安心、安全に暮らせる様に、地域の各団体や皆さんと一緒に助け合っていければ嬉しいです。民生委員児童委員は、地域を見守る身近な相談相手です。



■小和田小学校区青少年健全育成推進協議会

会長：齋藤里子（さいとうさとこ）

小和田小学校区青少年健全育成推進協議会は、地域で青少年育成活動を行うことを目的に組織化されました。年に4回開催の学区委員会は、小和田小学校・赤羽根中学校の校長が顧問となり、推進協運営役員と学区内の自治会長をはじめ、地区民児協、学童クラブ、保護者の会の方々に参加し、情報共有や意見交換を行っています。青少年育成に関心のある地域住民の方は、どなたでも参加いただけます。

主な活動として「地域パトロール」、「夏休み親と子の木工教室」、「子ども大会」、「中学生と大人のつどい」等があり、小和田地区の多くの子ども達に参加します。

令和7年度からまちぢから協議会/広報部会部長を務めることになり、担当として初めての「小和田地区まちぢからニュース」第60号を発行します。年度最初の号はまち協の新委員達の紹介を一面で行いました。写真は定期総会の様子です。

他の紙面は小和田地区の各自治会と団体の紹介です。また、一面右上に掲載の様に、新たに「こわだまち協ブログ」を立ち上げました。紙媒体による広報のみで無く、速報性を重視したブログとして、充実した内容にする予定ですので、是非ご覧ください。